

# 地域協議会 仙北平野あぐり 耕房推進協議会

(せんぼくへいやあぐりこうぼうすいしんきょうぎかい)

## 土や作物と直接ふれあうことで 忘れていた「ふるさと」が よみがえります

広大な田んぼが広がる仙北平野。遠くは鳥海山まで見渡せるすがすがしい景色の中で、農家民宿「季節の郷」を営む古谷恭子さんを中心に、大仙市、美郷町の農家が参加している協議会。子どもたちに自然や農業を身近に感じて欲しいとの思いから、沢山のプログラムを用意し学校単位での受け入れも積極的に行っています。

プログラムに参加した子どもたちは机上の「農業」でなく、実際に土や水に触れ体験し、採れたての旬の野菜を味わうことで、四季、自然、文化を感じ取ることができるようです。

受け入れる側も、次世代を担う子どもたちが目を輝かせて田植えや収穫に頑張る姿に励まされることも多いそうです。体験する側、受け入れる側それぞれが、世代や環境を超えてふれあい、農業を通じて交流を深めていけるのは数多くの農家が参加して組織する協議会だからこそ。メンバーが協力し合って季節ごとの様々な体験を用意し、都市と農村の架け橋としての役割を担っています。体験学習で得られるものは「農業体験」だけではありません。人と人とのつながりや自然とのふれあいを学び、子どもたちをより成長させてくれるものになることでしょう。



これから田植え!



稲刈り

広い仙北平野に広がる広大な田んぼで、沢山の子どもたちが農業体験プログラムに参加しています。



田植え

↑田植え枠を転がして印を付け田植え開始。

夏には溝きり作業のお手伝い。→



溝きり



いぶりがっこ

名物「いぶりがっこ」。大根を煙でいぶして漬け物にします。



漬け物

雪の中から掘り出しているのは早春の味覚「ひろっこ」。↓



ひろっこ掘り!



美味しいスイカで一息

作業で汗をかいたあとのスイカは最高に旨い!

植え付け用の穴空け

野菜の苗は丁寧の一つ一つ植え付けます。



苗の植え付け



けやきの家



ふるさと



やまだ産土のお宿



稲の里



季節の郷



農美里ハウスあいちゃん

修学旅行などでは各農家民宿に分かれて宿泊。沢山の子どもたちを受け入れています。

**地域協議会  
仙北平野あぐり耕房推進協議会**

四季それぞれの農村プログラムを準備。昔ながらの手作業から機械を使った現代の農業まで参加農家の田畑や設備を利用して体験できます。

[事務局]  
■住所/〒014-1413 大仙市角間川町字旭森 18-1 (季節の郷内)  
■TEL / 0187-86-5515  
■FAX / 0187-65-3494